



公演を終えて・・・

本番前は少し緊張しました。でも、いざ始まると楽しすぎて、公演があつという間に終わってしまったのを覚えています。練習は仕事が終わってからだったので、なかなか参加できなかったし、きつい面もありました。それでも続けられたのは他の楽しいメンバーがいたからです。今回は、若い人だけでなく、オヤジもオヤジなりに頑張っているんだという姿を見ることができたのではないかと思います。また機会があればぜひ集まりたいです。



中尾 農山 忍さん



日当 上村 幸誠さん

今回のプロジェクトは『新しい自分の発見』、これにつきます。日頃、他人には見せない部分を見せ、自分を見つめ直すことで、自分の人生観が変わりました。体全体を使って自分を表現する「からだ名刺」は初めての体験で、動きを考えることに苦労しましたが、自分を自由に表現することで、新しい自分と向き合うことができたのではないかと思います。新たな取り組みとはいいものです。次回はぜひ多くの出演者が集まればと思います。

『赤崎海想日誌』プロジェクトが昨年10月に終わり、ほっと一息していると、美術館から1月に今年度のプロジェクトの提案がありました。内容は「ダンス」。頭の中が真っ白になりました。ものすごい不安とプレッシャーに押しつぶされそうにもなりました。筋肉痛に耐えながらの厳しい練習。しかし、完成に近づくにつれて、共に練習するメンバーと喜びを分かち合えたことが最高に楽しかったです。関係者の方々、このような機会を与えてくださって本当にありがとうございました。



日当 松田 昭一さん



日添 吉野 芳美さん

若い人たちが地域を盛り上げようと頑張っている姿を見て、私にも何かできるはずだと思いで、オヤジダンサーズに参加しました。年齢のせいか踊りを覚えるのが大変でしたが、おもしろかったし、なにより練習が終わってから飲む酒が格別でした。私にとって『オヤジダンサーズ』とは《自分の未知の部分を引き出してくれるもの》。本番では観客からの大きな拍手でとても救われ、それが本当にやってよかったと思った瞬間です。

県立美術館とつなぎ美術館の合同プロジェクトとして立ち上がった「TSUNAGI ハート! アート! パラダイス!!」。これはグラフィックデザイナー・松永壮さんと舞踊家・森下真樹さんを講師とした住民参加型のアートプロジェクト。準備は2012年1月から始められ、オヤジダンサーズは4月に発足。町活性化のため、自称オヤジ計11人が集いました。5月から9月まで毎月(計5回)行われた、子どもたちによる大漁旗製作のためのワークショップ。これは松永さんを講師として開催し、作られたそれぞれの旗には子どもたちの津奈木への想いなどが込められました。それを同プロジェクト実行委員の協力で一枚一枚縫い合わせ、一枚にまとめたものが舞台の背景として使用され、当日の会場を華やかに飾りました。

ダンス練習は森下さんを講師として計10回行われ、限られた時間の中で猛特訓。なかなか覚えることができず、四苦八苦しながらも「舞台を成功させたい」という強い思いで練習に励みました。また、津奈木幼稚園児と津奈木小学校6年生を対象としたダンスのワークショップも開催され、今回の公演はこれらワークショップの集大成として披露されました。

オヤジダンサーズメンバー
松田昭一さん 吉野芳美さん
佐々木良治さん 森山誠二さん
松田修さん 農山忍さん
上村公助さん 上村幸誠さん

林田廣美さん
宮島正昭さん
岩崎修一さん

